

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

職場に闘う労働組合を

JR西 年末手当に加え過去最高一時金20万円+0.3ヶ月支給



ボーナス削減撤回を求めスト・デモを行う岩手医大教職員組合の組合員(11/29)

岩手医大教職員組合は11月29日に一時金削減撤回を求めるストを行いました。12年ぶりの大規模なストで約470名が集会・デモを行いました。11月15日には、「tysテレビ山口」(山口市)の労働組合がボーナス引き下げに反対する48時間のストにたちあがりました。物価高の中での引き下げに抗議する闘いで、一部のニュースが休止に追い込まれました。

未払い賃金をめぐっては、ジェットスターの労組が12月1日から争議行為を通知し、指名ストも構えられています。札幌市・美しが丘病院では休憩時間の賃金支払いを求めるストも闘われています。

一時金めぐり続くストライキ

一時金などをめぐり日本でもストが各地で闘われています。

JR西日本は11月21日、全社員(役員等を除く)に一律20万円+基本給0.3カ月分を合わせた一時金を支給すると発表しました。「過去最高の一時金」です。これとは別に年末手当が基本給の2.1カ月分支給されています。

なぜ現場だけ「カット」なのか

他方で、JR東日本は現場への一時金はコロナ前から大幅に減額されたままで、21年度にカットされた定昇「係数2」分も戻されていません。

しかし、役員の報酬だけは取締役1人当り5155万円(前年から1601万円増)と大幅に増額しました。団交では「収益が増えたから戻した」と回答しました。それなら何千万円も役員に払う前に、現場の一時金・定昇カットを「戻す」べきです。

会社は融合化・統括センター化やジョブローテーション攻撃をさらに拡大しようとしています。賃上げを勝ち取る力も、労働者の権利を守る力も、職場からの声と闘う労働組合にあります。